

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 卷 第 13 号

第 13 週 (3月26日 ~ 4月 1日)

発行年月日:平成19年(2007年) 4月 6日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

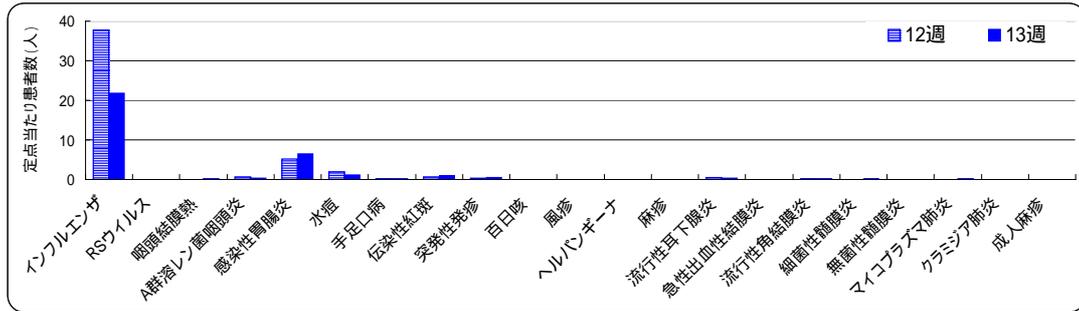
インフルエンザの発生は、今年になり初めての減少!

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、平成19年第12週(3月19日~3月25日)の報告数よりかなり減少し、特に、インフルエンザで急減しています。先週より増加した疾患は咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、伝染性紅斑(リンゴ病)等で、減少した疾患はインフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎、水痘および流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

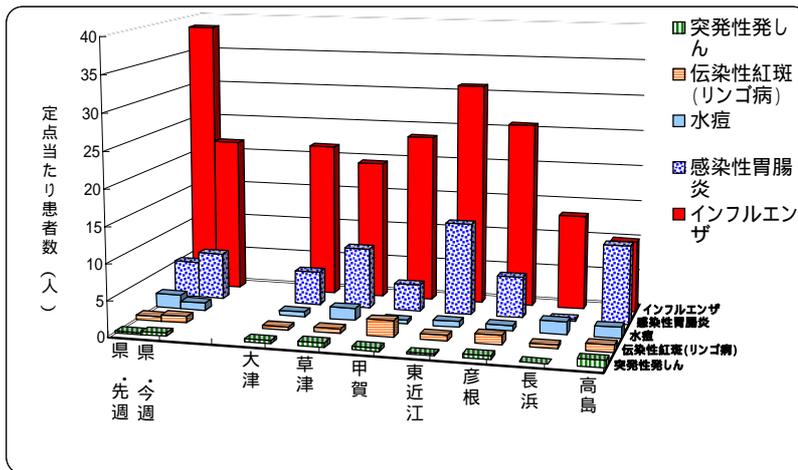
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によるとインフルエンザに警報および注意報が発生しています。また、伝染性紅斑に警報が発生しています。

全数把握対象疾患では、五類感染症のアメーバ赤痢 1名および急性脳炎 1名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)

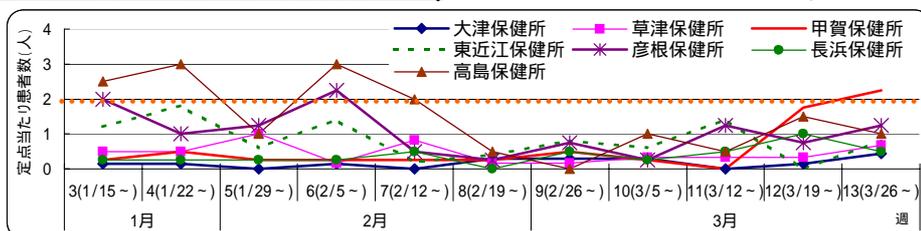


上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第13週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、インフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘、伝染性紅斑(リンゴ病)、突発性発疹の順に多くなっています。インフルエンザは先週より減少していますが、感染性胃腸炎はやや増加しています。

伝染性紅斑の保健所管内別発生状況(平成19年第3~13週、H19.1.15~H19.4.1)



..... : 警報開始基準値

警報・注意報発生状況

インフルエンザの警報・注意報発生状況(平成19年第6～13週)

週	滋賀県	大津保健所	草津保健所	甲賀保健所	東近江保健所	彦根保健所	長浜保健所	高島保健所
	定点当たり患者数							
6週	12.58	16.00	12.90	13.43	8.00	12.14	12.00	11.67
7週	14.91	17.64	13.00	18.14	12.13	14.00	11.00	22.33
8週	23.60	21.00	30.40	30.71	20.50	25.14	12.43	24.67
9週	28.04	34.91	29.70	27.00	25.13	23.14	19.57	38.67
10週	29.28	35.91	27.60	31.43	25.50	40.00	13.71	27.00
11週	32.60	35.64	40.30	36.29	37.57	31.00	17.29	15.00
12週	38.50	43.73	42.10	36.86	47.86	44.00	22.00	15.00
13週	21.72	21.64	19.50	23.57	31.13	25.86	13.29	10.00

:警報発生中 :注意報発生中 警報発生基準値 : 定点当たり患者数が30人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が10人未満になるまで継続して出されます。
 注意報発生基準値 : 定点当たり患者数が10人以上という基準値を超えた時に出されます。

伝染性紅斑(リンゴ病)の警報発生状況(平成19年第13週)

週	滋賀県	大津保健所	草津保健所	甲賀保健所	東近江保健所	彦根保健所	長浜保健所	高島保健所
	定点当たり患者数							
13週	0.91	0.43	0.67	2.25	0.80	1.25	0.50	1.00

:警報発生中 警報発生基準値 : 定点当たり患者数が2人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が1人未満になるまで継続して出されます。

<<感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム>>

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム(厚生労働科学研究事業)では過去5年間の患者発生状況をもとに疾患ごとに警報レベルおよび注意報レベルの基準値を設定しています。その基準値を超えた時に流行発生警報あるいは流行発生注意報という表現により流行状況の指標を示しているもので、都道府県として発令される「警報」、「注意報」とは異なります。

流行発生警報

流行発生警報という表現により大きな流行が発生した、または発生している可能性があるという情報を提供しています。

流行発生注意報

流行発生注意報という表現により今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性がある、または現在も流行が継続している可能性があるという情報を提供しています。

* 詳細については警報・注意報発生システムとは(国立感染症研究所感染症情報センター)参照
<http://idsc.nih.gov.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide06.html>

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (13週)	累積報告数		平成18年報告数	
			滋賀 (13週)	全国 (13週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	コレラ	0	0	3	1	47
	細菌性赤痢	0	(*)2 1	125	(*)3 6	483
三類感染症	腸チフス	0	0	9	0	72
	腸管出血性大腸菌感染症	0	3	162	54	3,910
四類感染症	E型肝炎	0	0	13	2	70
	A型肝炎	0	0	40	21	316
	オウム病	0	0	7	0	22
	デング熱	0	0	11	0	57
	マラリア	0	0	7	0	61
	レジオネラ症	0	1	89	11	508
五類感染症	アメーバ赤痢	1	3	177	8	738
	ウイルス性肝炎	0	0	32	0	275
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	41	0	177
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	33	6	107
	後天性免疫不全症候群	0	3	282	8	1,301
	ジアルジア症	0	0	9	1	87
	梅毒	0	0	112	4	625
	破傷風	0	0	13	1	115
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	18	0	79
	急性脳炎	1	1	50	1	160

*1:平成17年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分です。

*3:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第13週(3/26～4/1) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: A型肝炎 1例	五類感染症: クロイツフェルト・ヤコブ病 2例
二類感染症: 細菌性赤痢 13例	二つが虫病 2例	後天性免疫不全症候群 6例
腸チフス 1例	レジオネラ症 5例	劇症型溶血性
三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 10例	五類感染症: アメーバ赤痢 5例	レンサ球菌感染症 1例
デング熱 1例	梅毒 3例	急性脳炎 2例
	ウイルス性肝炎 1例	

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成19年第8～13週、2/19～4/1)

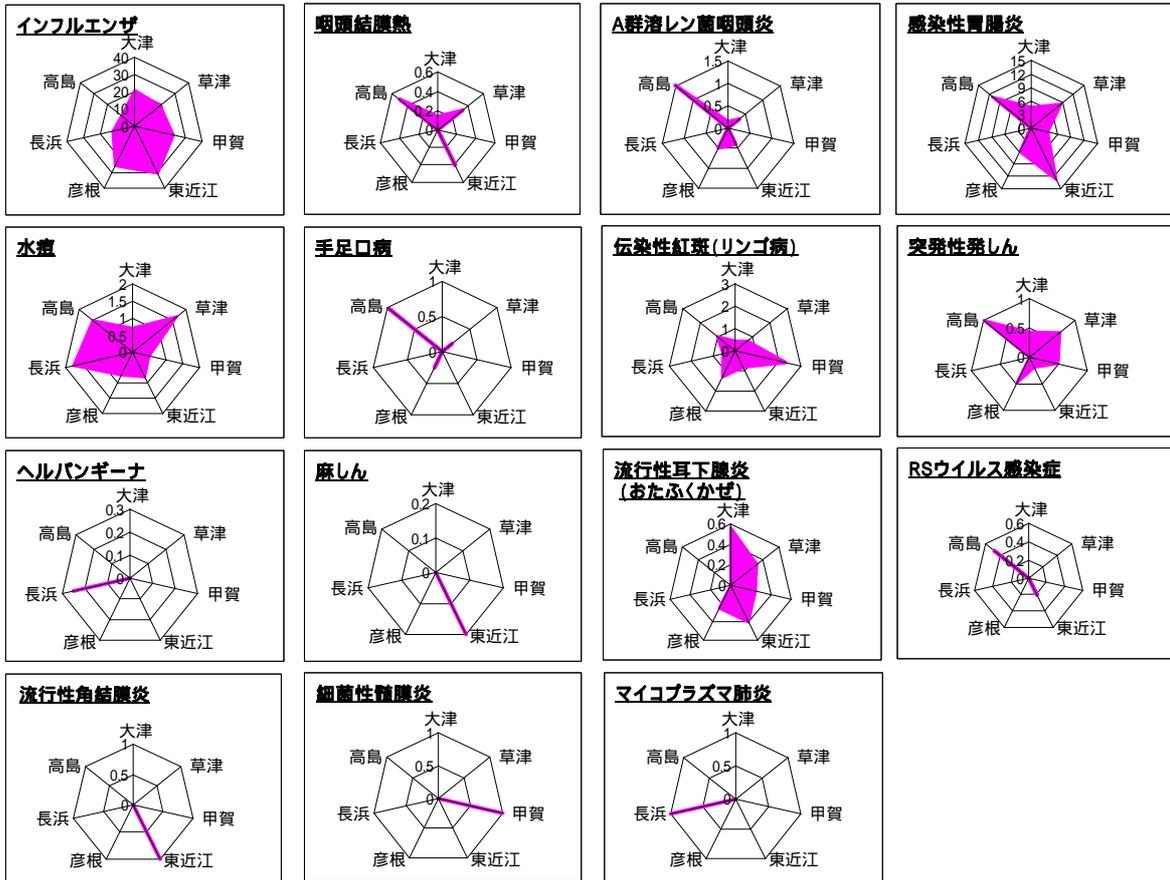
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)						
	8週	9週	10週	11週	12週	13週	週
	(2/19～)	(2/26～)	(3/5～)	(3/12～)	(3/19～)	(3/26～)	9 10 11 12 13
インフルエンザ	23.60	28.04	29.28	32.60	37.77	21.72	
RSウイルス感染症	0.25	0.13	0.09	0	0.03	0.06	
咽頭結膜熱	0.16	0.13	0.25	0.03	0.06	0.19	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.69	0.72	0.69	0.78	0.69	0.31	
感染性胃腸炎	2.31	4.00	5.06	5.97	5.09	6.53	
水痘	2.31	2.69	2.34	2.50	1.97	1.06	
手足口病	0.09	0.09	0.03	0	0.13	0.13	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.25	0.44	0.38	0.53	0.63	0.91	
突発性発疹	0.41	0.34	0.38	0.31	0.25	0.44	
百日咳	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0.03	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0.03	0	0	0	0.03	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0.03	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.38	0.75	0.34	0.50	0.44	0.31	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.14	0.43	0	0.14	0.14	0.14	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0.14	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0.29	0	0	0.14	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第13週, 3/26~4/1)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	21.72	21.64	19.50	23.57	31.13	25.86	13.29	10.00	
RSウイルス感染症	0.06	0	0	0	0.20	0	0	0.50	
咽頭結膜熱	0.19	0.14	0.33	0	0.40	0	0	0.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.31	0.14	0.33	0	0.40	0.50	0	1.50	
感染性胃腸炎	6.53	4.71	8.50	3.75	12.80	5.75	0.25	11.00	
水痘	1.06	0.71	1.67	0.50	0.80	0.75	1.75	1.50	
手足口病	0.13	0	0.17	0	0	0.25	0	1.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.91	0.43	0.67	2.25	0.80	1.25	0.50	1.00	
突発性発しん	0.44	0.43	0.67	0.50	0.20	0.50	0	1.00	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.03	0	0	0	0	0	0.25	0	
麻しん(成人麻しんを除く)	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.31	0.57	0.33	0.25	0.40	0.25	0	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0.14	0	0	1.00	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中
 0 5 10 15 20 25
 定点当たり患者数(人)

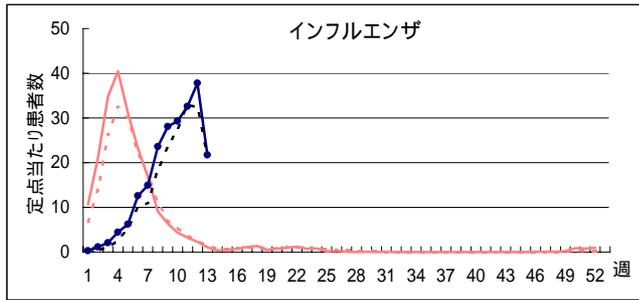
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



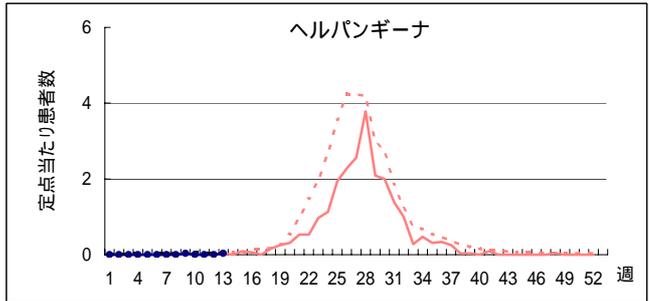
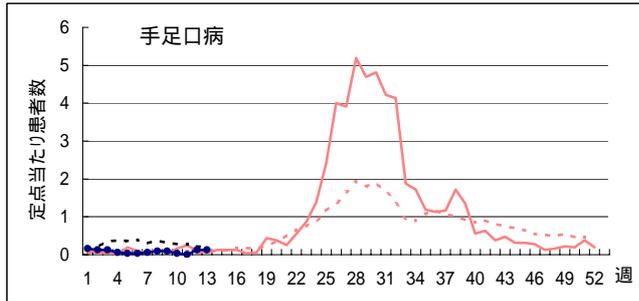
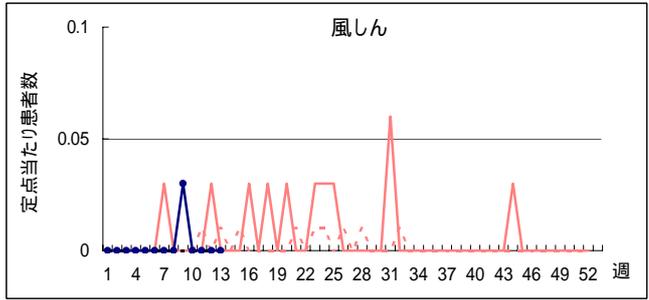
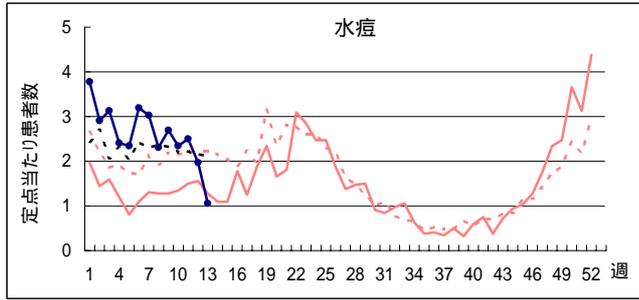
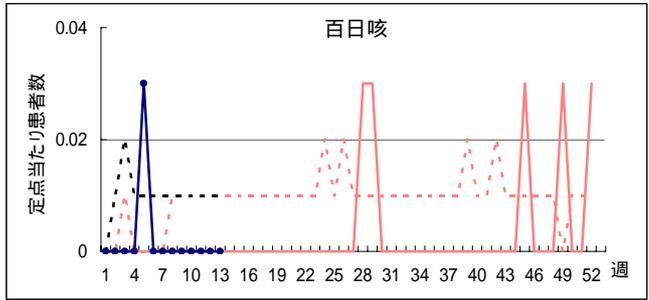
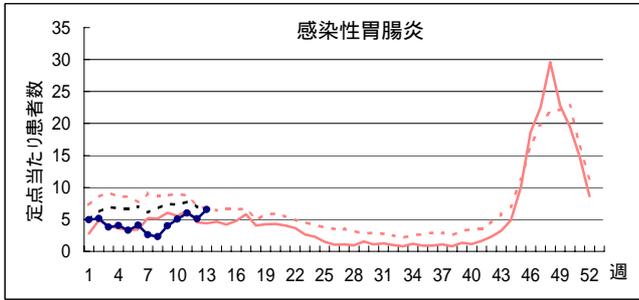
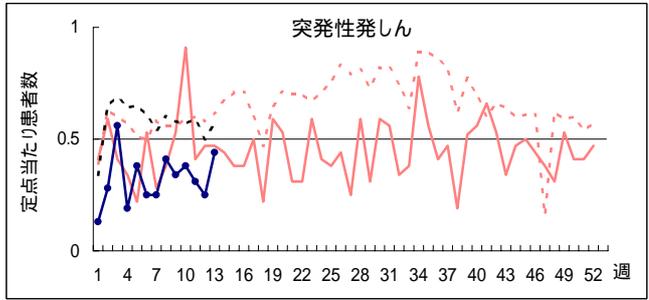
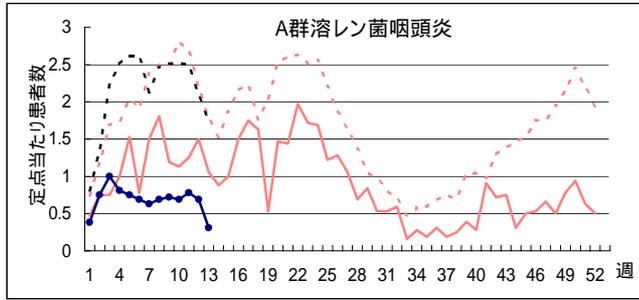
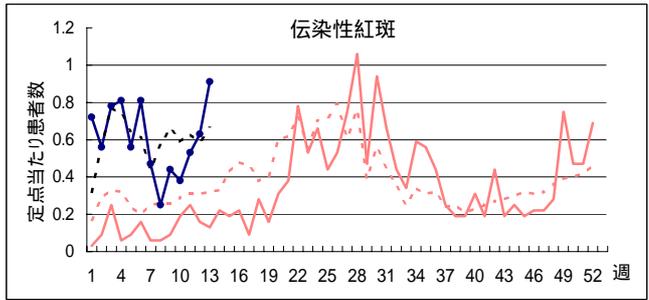
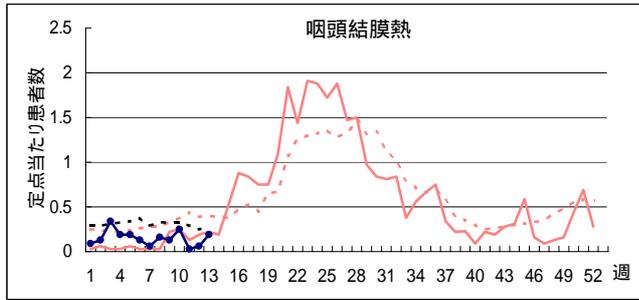
今週の発生状況:

- インフルエンザ-----県全体の定点当たり患者数は先週(37.77)より減少し21.72となっていますが、甲賀、東近江および彦根では多い状態が続いています。今後も予防についての十分な注意が必要です。
- 感染性胃腸炎-----大部分の保健所管内で先週より増加し、特に東近江保健所管内の定点当たり患者数は12.80と多くなっています。
- 伝染性紅斑-----甲賀保健所管内では先週に引き続き増加し、定点当たり患者数は2.25となり警報開始基準値(2.00)を超えました。
- 麻しん-----東近江から報告されています。年齢は2歳です。

疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第13週、H19.1.1～H19.4.1)



H18 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H19 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第13週、H19.1.1～H19.4.1)

H18
 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

H19
 〔 滋賀 ●—●—●—
 全国 - - - - -

